

福島第一原子力発電所 2号機使用済燃料プール内調査に向けた水中ROV操作訓練について

< 参 考 資 料 >
2 0 2 0 年 5 月 1 2 日
東京電力ホールディングス株式会社
福島第一廃炉推進カンパニー

< 概要 >

- 福島第一原子力発電所2号機においては、2024年度から2026年度で使用済燃料プール（以下、SFP）からの燃料取り出し開始を計画しておりますが、今後燃料を取り出すに当たっては、燃料上部およびキャスクピット内の干渉物等の有無、ならびにプールゲートおよびスキマサージタンクの状態を事前に確認をする必要があります。
- 2号機については、オペレーティングフロア内の線量が高く、アクセスが困難であることから、これまで使用済燃料プール内の調査を実施しておりませんでした。この度、残置物片付け作業が進み、SFP近傍へアクセスが可能となり、調査装置を安全に設置することができると判断したことから、2020年6月初旬から設置作業を開始し、2020年6月中旬に水中ROVを用いてSFP内調査を初めて実施することとしました。

（2020年4月30日お知らせ済み）

- SFP内調査に先立ち、作業環境を模擬した状況での作業内容の確認ならびに当社社員の水中ROVの遠隔操作技術力向上を目的に、福島ロボットテストフィールドにて、5月13日から5月15日の3日間、水中ROV操作訓練を実施します。
- 本訓練では、水中ROVの基本操作を行い、力量確認試験を実施したうえで、6月中旬の調査を安全最優先で実施してまいります。

< 水中ROV操作訓練者数 >

- 当社社員の参加者数 計8名
5月13日(水): 3名 5月14日(木): 3名
5月15日(金): 2名
- 訓練時間
1日約6時間程度



水中ROV

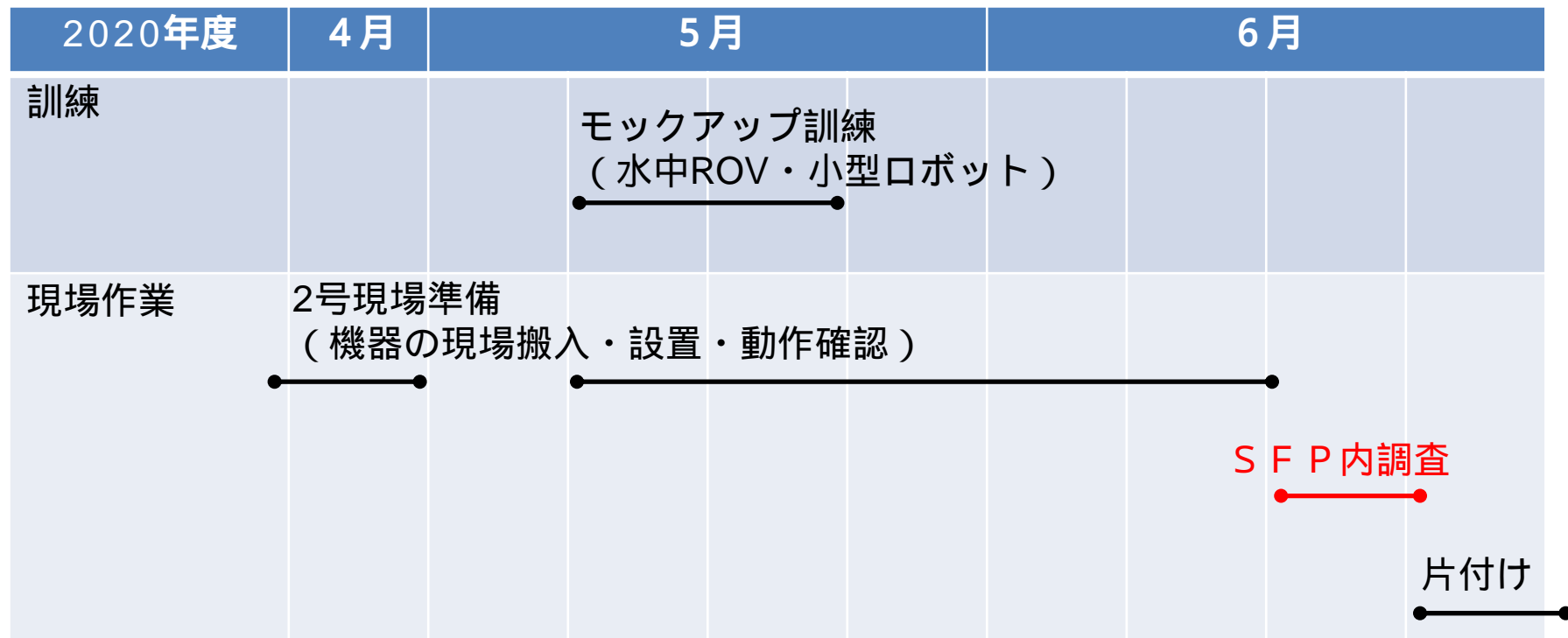


水中ROVの走行イメージ

< 参考 > 今後のスケジュール

- 4月下旬から調査機器の現場搬入・設置・動作確認を行い、5月中旬にモックアップ訓練を行う。（水中ROVの訓練は南相馬市の福島ロボットテストフィールドにて実施する）
- 上記準備が完了した後、6月中旬にSFP内調査を行う。
- SFP内調査の結果を踏まえて、燃料取り出し設備の設計に反映する。

< 1F-2号機 S F P 内調査及び準備スケジュール >



上記スケジュールは、訓練や現場準備状況等により変更となる可能性あり